

2017年6月期 第2四半期決算説明資料

目次

■ I. 決算概要と今期予想

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	3
事業セグメント別の状況	4
2017年6月期 第2四半期決算のポイント	6
配当について	8
財務状況	9
2017年6月期連結業績予想	10

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	11
将来ビジョン	14

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例	15
事業拠点	23
注意事項	24



SECURITIES CODE : 6061

株式会社 **ユニバーサル園芸社**

2017年2月23日

I. 決算概要と今期予想

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■ 業績は景況感回復を背景に増収

■ 主力事業のグリーン事業において、国内レンタルグリーンの契約件数の増加、造園施工、季節商品販売における売上増加および、米国のローリング・グリーンズ社の事業譲受したこと等による影響が増収に寄与しております。

■ なお、ローリング・グリーンズ社の事業譲受におけるM&Aの一時的な取得関連費用(間接部門費、システム費用等)が増加したため、前年同四半期比において営業利益及び経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しております。

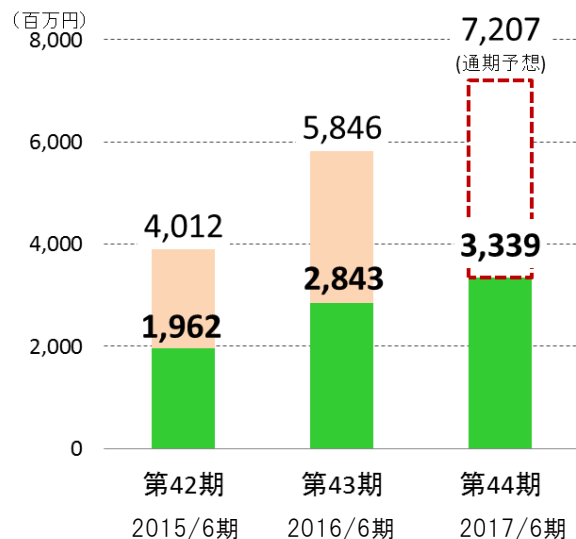
(百万円)

	第43期(2015/7-12月)		第44期(2016/7-12月)		
		百分比(%)	百分比(%)	前期比(%)	
売上高	2,843	100.0	3,339	100.0	17.4
営業利益	409	14.4	273	8.2	-33.3
経常利益	427	15.0	383	11.5	-10.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	279	9.8	263	7.9	-5.6
1株当たり四半期純利益(円)	58.18		54.92		

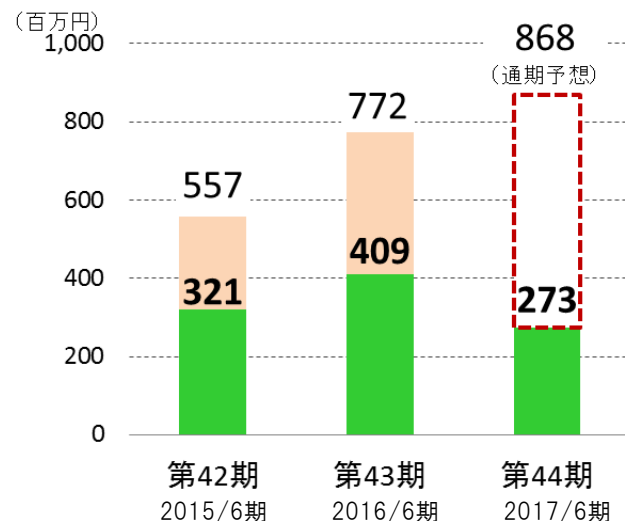
※2017年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第43期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

グラフでみる当社グループの推移・動向

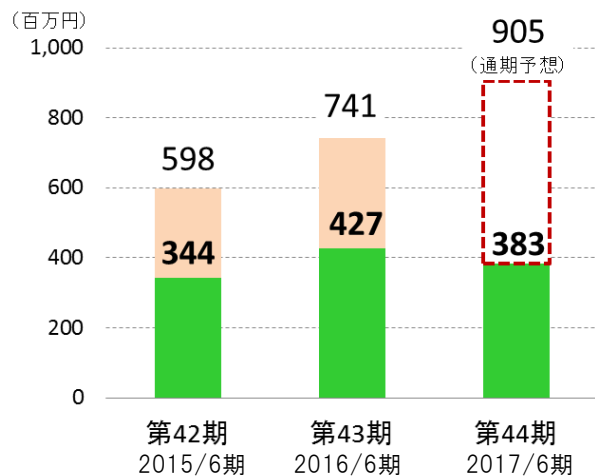
売上高



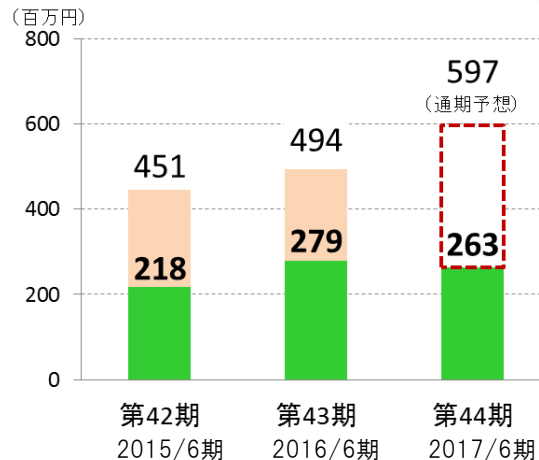
営業利益



経常利益

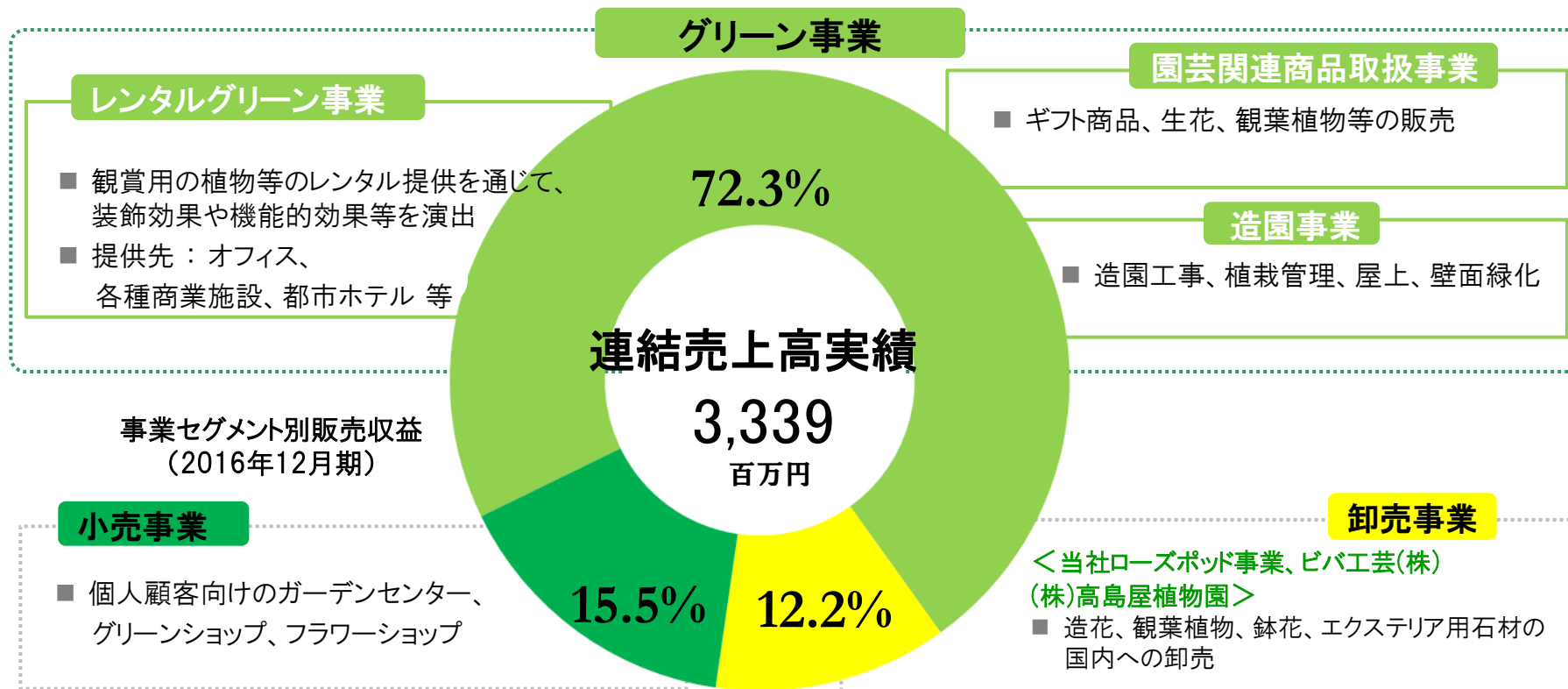


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約72%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメント別の状況

(百万円)

		第43期 (2015/7-12月)	第44期 (2016/7-12月)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	1,937	2,441	26.0
	利益	416	264	-36.4
卸売事業	売上高	439	411	-6.3
	利益	17	23	33.4
小売事業	売上高	510	523	2.6
	利益	-33	-27	—

■ 主力のグリーン事業は景況感の回復が進み、契約数の増加や米国のローリング・グリーンズ社の影響等により増収、ローリング・グリーンズ社の事業譲受によるM&Aの一時的な取得関連費用により減益

■ 卸売事業は既存取引先との取引が減少したこと等により減収、積極的に経費削減等に取り組んだこと等により増益

■ 小売事業は新規店舗の認知度を高め増収、設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失

グリーン事業内訳(エリア別)

(百万円)

		第43期 (2015/7-12月)	第44期 (2016/7-12月)	前期比(%)
関東エリア	売上高	886	977	10.3
	利益	233	243	4.4
関西エリア	売上高	729	806	10.5
	利益	180	176	-2.0
海外エリア	売上高	322	658	104.4
	利益	2	-155	—

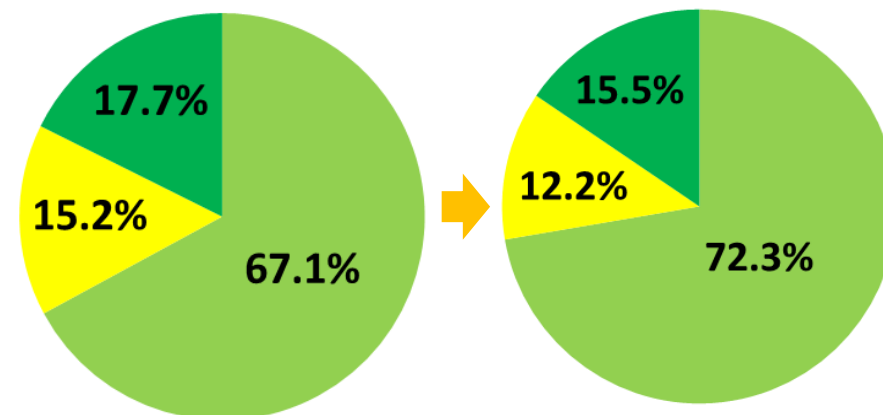
※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別 売上高 (百分比)

第43期(2015/7-12月)

第44期(2016/7-12月)



■ グリーン事業 ■ 卸売事業 ■ 小売事業

事業セグメント別の状況

(百万円)

		第43期 (2015/7-12月)	第44期 (2016/7-12月)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	1,937	2,441	26.0
	利益	416	264	-36.4
卸売事業	売上高	439	411	-6.3
	利益	17	23	33.4
小売事業	売上高	510	523	2.6
	利益	-33	-27	—

グリーン事業内訳(売上別)

(百万円)

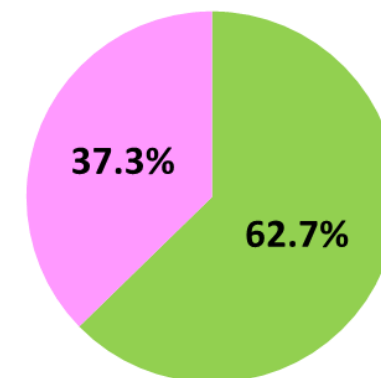
	第43期 (2015/7-12月)	第44期 (2016/7-12月)	前期比(%)
レンタルグリーン売上	1,204	1,530	27.1
その他売上	733	910	24.1
合計	1,937	2,441	26.0

※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※その他売上はレンタルグリーン以外の、園芸関連商品取扱事業(ギフト、人工樹木、装飾、季節商品販売等)、造園事業(造園施工、植栽管理等)を指します。

グリーン事業内訳(売上別) (百分比)

第44期(2016/7-12月)



■ レンタルグリーン売上 ■ その他売上

2017年6月期 第2四半期決算のポイント

①株式分割

◆ 投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的に、2017年1月1日付で、1株につき2株の割合をもって株式分割しました。

②株主優待制度の拡充

◆ 現行の株主優待制度に加え、2017年12月より、毎年第2四半期期末(12月31日)現在の当社株主名簿に記載または、記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に当社オリジナルクオカード1,000円分を進呈いたします。

※現行および今回追加の株主優待制度につきましては、2017年1月1日における株式分割後の株式数を基準に実施予定

現行	基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
	6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬

※現行の株主優待制度は2016年6月より実施しており、2016年9月下旬に進呈致しました。

今後	基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
	6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
	12月末日※	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※2017年12月より実施、2018年3月上旬進呈予定となります。

2017年6月期 第2四半期決算のポイント

③支店開設

- ◆ 2016年12月にグループの主力事業であるレンタルグリーン事業の拡大を目指し、横浜を首都圏における国内の主要な市場と位置付け、営業活動の効率化、エリア拡大を積極的に行うために、横浜支店を開設しました。

所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区和田二丁目2-2



配当について

配当総額の推移

2015年6月期	72,072,120円
2016年6月期	84,082,425円
2017年6月期	84,081,515円(予定)

配当方針

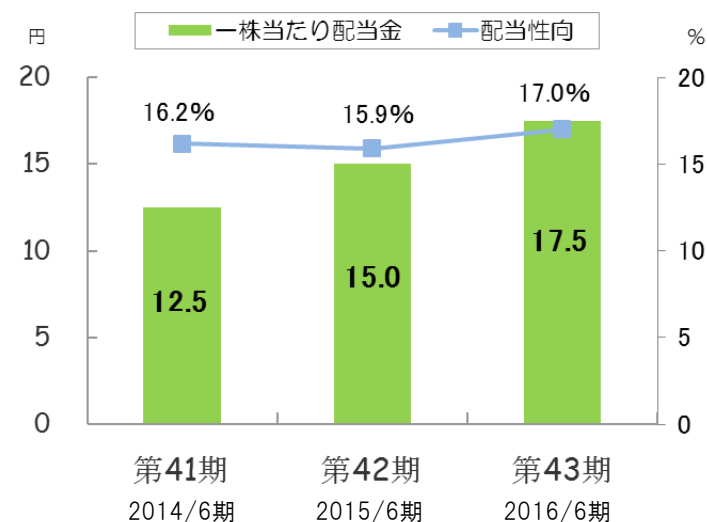
【基本方針】

- 内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主への長期的な利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施
配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の増大にあわせて適宜引き上げを検討

【内部留保資金の用途について】

- 新事業部門や新たな支店開設の資金、及び他社との業務提携、M&Aの備えとする

配当金の推移



※一株当たりの配当金を分割を考慮した上で、遡及修正しております。

財務状況

連結貸借対照表

第43期 決算期(2016/6月末)

(百万円)

流動資産	3,380	流動負債	1,001
(うち手元流動性)	2,393	固定負債	785
固定資産	3,984	負債計	1,787
(うち投資その他資産)	1,965		
		純資産計	5,578
総資産計	7,365	負債・純資産計	7,365

第44期 第2四半期(2016/12月末)

(百万円)

前期末比(%)			前期末比(%)		
流動資産	2,967	-12.2	流動負債	1,133	13.2
(うち手元流動性)	1,745	-27.1	固定負債	690	-12.2
固定資産	4,545	14.1	負債計	1,823	2.1
(うち投資その他資産)	2,092	6.4			
			純資産計	5,689	2.0
総資産計	7,513	2.0	負債・純資産計	7,513	2.0

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2017年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

■ 第3四半期連結会計期間に連結子会社のローリング・グリーンズ社のクリスマス関連売上が大きく計上され、利益額は改善すること等から、2016年8月12日に発表した通期の連結業績予想は据え置いております。

■ レンタルグリーンのシェア拡大に注力

■ 生花店、園芸雑貨店の小売事業の拡大、および初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化

(百万円)

	第43期(2016/6期)		第44期予想(2017/6期)		
		百分比(%)	百分比(%)	前期比(%)	
売上高	5,846	100.0	7,207	100.0	23.3
営業利益	772	13.2	868	12.1	12.4
経常利益	741	12.7	905	12.6	22.1
親会社株主に帰属する当期純利益	494	8.5	597	8.3	20.8
1株当たり当期純利益(円)	205.88		124.35		
1株当たり配当金(円)	17.50		17.50		

※2017年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第43期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

基本戦略

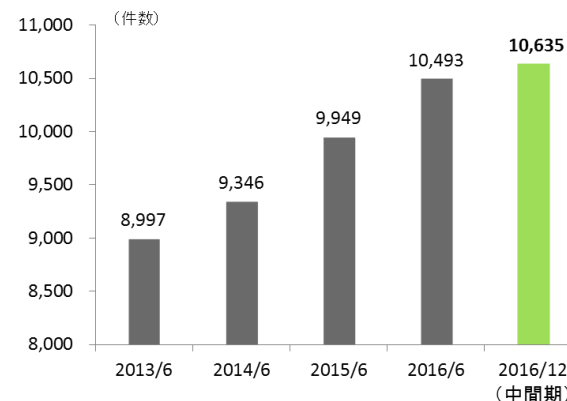
1 グリーン事業の収益基盤の強化

- 多数の幅広い顧客による支持→顧客満足度の向上より企業価値の向上

- レンタルグリーン事業のシェア拡大

レンタルグリーン市場における当社の国内
シェア・・・推計5.0%程度※
⇒シェア拡大余地は大きい

(参考) レンタルグリーン契約件数の推移(国内)



2 レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、装飾、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注

→相乗効果による事業拡大

※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー&グリーン市場に関する調査結果2012」のグリーン市場におけるリースレンタル業408億円に対する、2016年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高2,038百万円の割合を記載しております。

3 小売事業へのチャレンジ

■ フラワー、ガーデンショップの店舗数を拡大 ➡ 新規出店に加え、M&Aも選択肢

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」

(ザ ファーム ユニバーサル)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ザ ファーム ユニバーサル 大阪本社)

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」

(フルール ユニヴェセール プティ)

- ・東急プラザ蒲田店

「Fleur Universelle」

(フルール ユニヴェセール)

- ・広尾店



(広尾店)

■ グリーンショップ

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」

- ・ランチ神戸学園都市店
- ・フォレオ大津一里山店
- ・イオンモール四條畷店



(ランチ神戸学園都市店)

「the Farm UNIVERSAL 銀座」

(ザ ファーム ユニバーサル)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」

(ファーマーズ キッチン)

- ・大阪本社
- ・千葉

「Les Grands Arbres」

(レ・グラン・ザルブル)

- ・広尾店



(ファーマーズキッチン 大阪)

4 海外事業の展開

2007年12月 上海進出(上海寰球園芸産品租賃有限公司)

2015年4月 ワシントンD.C.進出
ローリング・グリーンズ・インクを100%子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インクより、
2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、
植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受



将来ビジョン

日本一の園芸会社

2020年6月期を最長に

売上

連結売上高 100億円

利益

連結経常利益 13億円

成長

毎年2ケタ成長を目指す

事業拡大

新商材・新事業

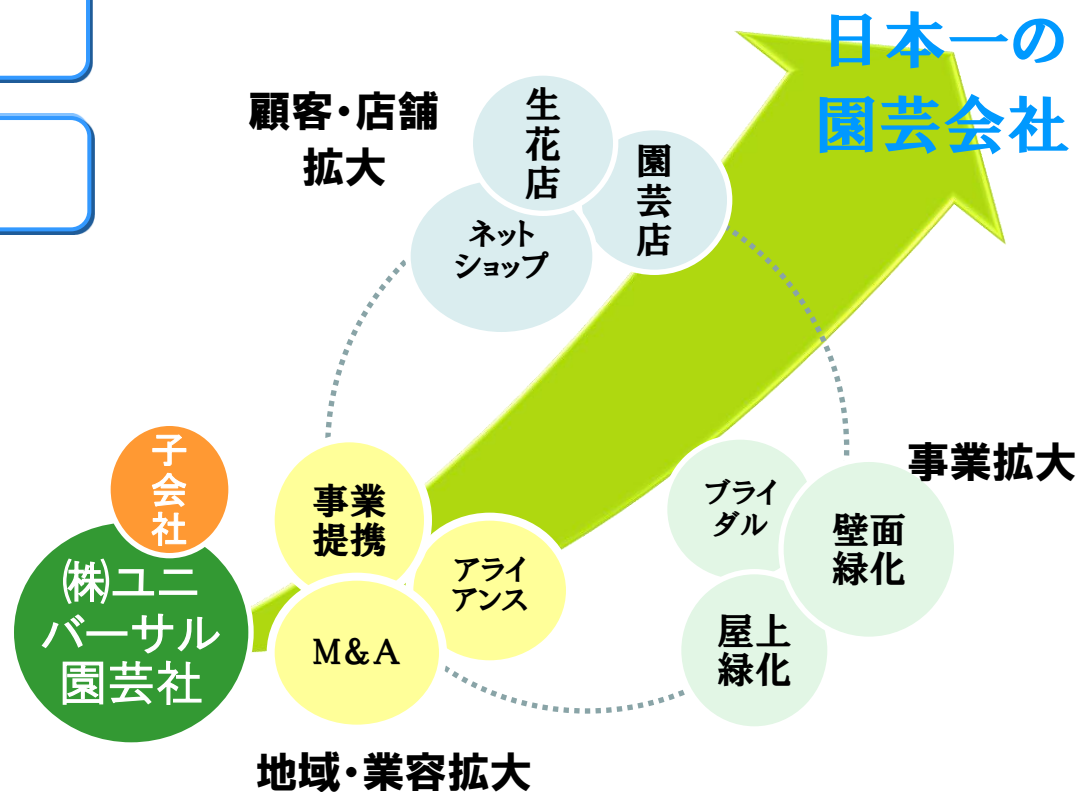
地域拡大

国内主要都市・海外

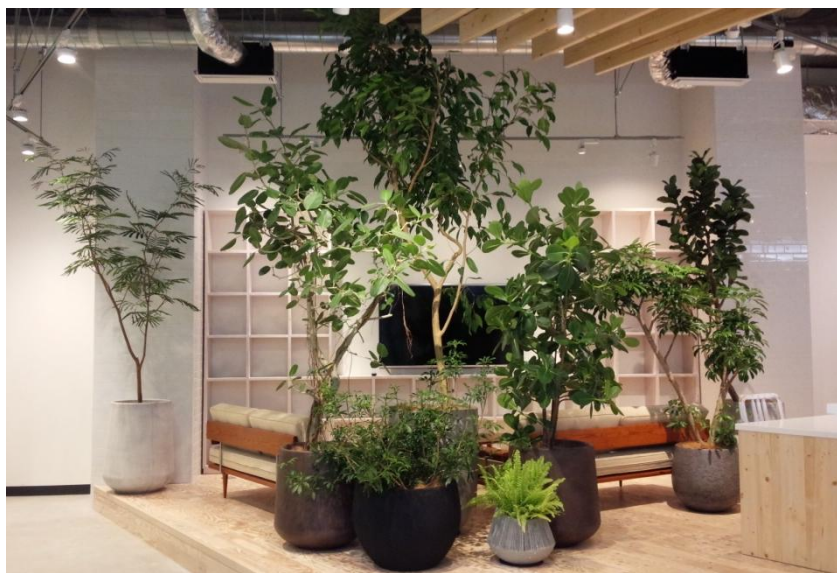
人材育成

技術力・サービス力向上

事業戦略推進のイメージ



セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介

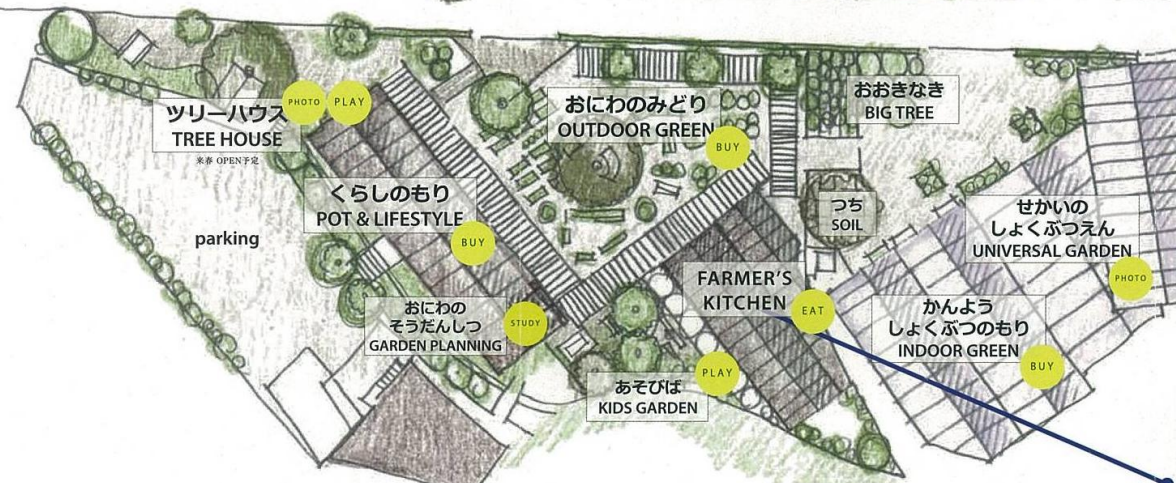


グリーン事業(造園事業、ネット事業、ギフト事業)

セグメントごとの納入事例・紹介



OPEN
10:00-18:00



小売事業 (the Farm UNIVERSAL)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業（花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ Fleur Universelle）

セグメントごとの納入事例・紹介



ギフトスプレーからインテリア、ブライダル、ギフトまで
S応えます。

ORIGINAL FLOWER
VIVA

Flower
のご提案

商品案内 ITEM INFO	コンセプト CONCEPT	会社案内 PROFILE	リンク LINK	コンタクト CONTACT
-------------------	------------------	-----------------	-------------	------------------

美しく、可憐に、あざやかに、ナチュラルであれ！
オリジナルの造花にこだわり続け30余年・・・
ビバ工芸は今も生花越える造花を追い求めています。

1975年の創業以来、ビバ工芸株式会社の造花は「オリジナル」にこだわり続
ける造花の卸売、販売メーカーです。
「花のある暮らしのご提案」として、ビバ工芸のウェブサイトは、私たちが創り
出す「造花」を主に、光触媒加工、アレンジフラワーの商品情報をご紹介します

- フラワー
Flower
- グリーン
Green
- ブーケ
Bouquet

卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点

東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築

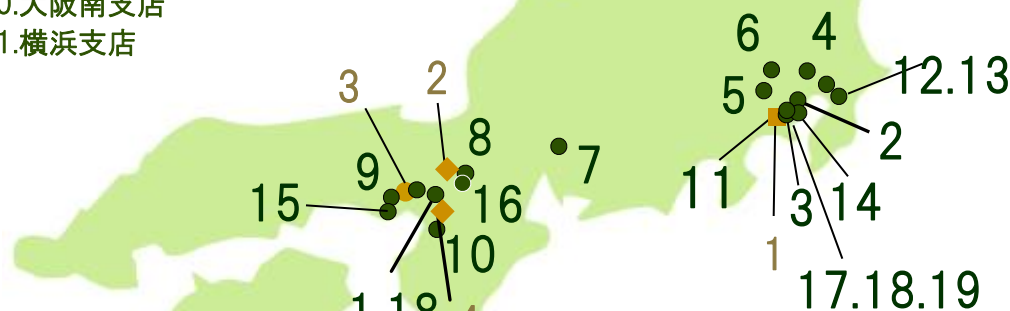


大阪本社

- 1.大阪本社
ザファーム
ファーマーズキッチン
- 2.東京本社
- 3.東京南支店
- 4.東京東支店
- 5.東京西支店
- 6.東京北支店
- 7.名古屋支店
- 8.京滋支店
- 9.神戸支店
- 10.大阪南支店
- 11.横浜支店

- 12.ザファーム千葉
- 13.ファーマーズキッチン千葉
- 14.フルール・ユニヴェセール
&レ・グラン・ザルブル(広尾)
- 15.りこしえ プランチ神戸学園都市店
- 16.りこしえ フォレオ大津一里山店
- 17.フルール・ユニヴェセールプティ(蒲田)
- 18.りこしえイオンモール四條畷店
- 19.ザファーム銀座

個人向け店舗
(1.はガーデンセンター&カフェ)
(14.はフラワーショップ&カフェ)



- [国内連結子会社]
- 1.ピバ工芸(株)＜卸売事業＞ 2009年11月
 - 2.(株)青山造園＜造園事業＞ 2009年12月
 - 3.(株)花守花の座＜グリーン事業＞ 2013年2月
 - 4.(株)高島屋植物園＜卸売事業＞ 2015年4月

[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃
有限公司＜グリーン事業＞
(2007年12月設立)
- 2.ローリング・グリーンズ・インク
＜グリーン事業＞
(2015年4月子会社化)



東京本社

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2017年2月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。